



題字は松井岳洋筆

No.377

平成18年5月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可

神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax.046-875-3723

詩吟は生涯の友

会計監査 鈴木 江 岳

戦後6年ころ、私は鈴木家に嫁ぎました。昼間は家事家業に追われ、ホットするのは夜でした。その折、主人は詩吟を始めた頃の想い出をよく聞かせてくれました。

昭和13、14年ころ、青年団で松井岳洋先生に師事し、逗子海岸に行つては波の音に消されない大きな声で詠じた事、木村岳風先生のお宅へも同道して奥様に甘酒をご馳走になつた事等、今から思えば素晴らしい話でした。昭和30年ころ、今の渚支部教場前の古い建物の消防団結所で、松井岳洋先生が教場を開設され根岸先生と主人が最初の生徒でした。私は時折その建物の羽目板に寄り掛かつて、教場から流れて来る吟詠に聞き惚れたものでした。しかし一時期教場がなごさ会館に移つて中断しましたが、その後井沢先生の教場が開かれ再び懐かしい吟詠に巡り逢うことができ、詩吟に対する興味が一段と深まり、暇が

できたら是非習いたいと思うに至りました。その後の55年秋、なごさ会館から教場名が逗子Aとして戻つて来て、今の松井岳洋先生に勧められ晴れて私は入会致しました。

当時、この教場は指導者三井先生以下20数名の熱気が溢れかえつており、その中で独り緊張してただ諸先輩の吟を聴く毎日でした。

ある日突然、先生から「九月十日」の吟詠を指名され何とか声を出してみましたら、余韻が母音に返っていると褒められ感激したのを今でもはつきり覚えております。

以来、根岸先生、千葉先生と次々とご指導を賜り何とかここまで辿り着くことができました。

振り返れば、結婚直後主人から聞いた話が「私と詩吟」の出会いで、その吟詠を聴きながら徐々に絆を深め、正式入会で生涯の友と誓つたのが私の吟歴だと思ひます。

私にとって想い出の場所にある渚支部は、若い指導者内山先生と生徒が和気合々と楽しい雰囲気の中で、吟を生涯の友として健康で元氣にお稽古を続けるつもりです。

行事予定

碩心会総会

日 時・5月14日(日) 18時より

場 所・逗子小学校ランチルーム

神奈川地区青少年吟道大会

日 時・6月4日(日) 9時受付

場 所・港南公会堂

碩心会温習会

日 時・6月17日(土) 9時受付

場 所・葉山町福祉文化会館 大会議室

昇伝認許

(平成18年4月1日付)

(少年 3名)

松浦みづき 10級 広瀬直樹 7級

広瀬優作 3級

(初段 6名)

中島明紀 久保洋子 久保寿美子

秋本茂樹 横井昌子 高森瑛子

(二段 4名)

品川栄一 歌代宗夫 梅澤 彰

飯淵 武

(初伝 6名)

藤崎洋泉 飯島知泉 長田美泉

山下信泉 大塚陽泉 岡田麗泉

(三段 4名)

渡辺恵泉 乗松果泉 田邊瑞泉

寺村妙泉

(四段 2名)	岩田義泉	吉田千泉
(中伝 3名)	鮎澤紀山	坂上越山
	中村欣山	種田麗山
	志田廣山	種田麗山
(五段 3名)	石渡美山	吉原益山
(六段 4名)	鈴木翠山	湯浅杏山
	伊藤泰山	田沢瀾山
(奥伝 2名)	森 律風	角田勝風
(七段 1名)	鳴原隆風	
(八段 3名)	森田祐風	田口綾風
(師範 1名)	行谷隆風	河田好風

さあ、次が私の出番という時、ああここにカラオケのマイクがあればと思いつつ審査会の壇上に立つ。最初の声がかうまく出るかどうか、カラオケとは違い詩吟は誤魔かせない。出たとこ勝負で最も緊張する一瞬である。機械に頼らず自らの感性で吟ずることの難しさ。また、うまく吟じられた時の満足感言葉にならない思いがある。個々の感性が失わ

青春の一ページ(春季審査会)

滝の坂 志 田 廣 泉

れつつある現代、自らの感性を磨くには詩吟は最大の勉強の場であり、次の審査会までこれから一年青春時代を思い出しつつ新たな緊張で迎えたいと思う。

青少年育成の日

3月26日(日)ソレイユの丘に於て、神奈川県本部主催による「青少年育成の日」が開催されました。松浦みづきちゃん、広瀬直樹君優作君とご家族の方が参加しました。

堀内B 松 浦 みづき

きょうは、ソレイユの丘へ、しぎんを、やりにいきました。わたしは、一ばんにしぎんをやったので少しきんちようしました。わたしは、九月十日をやりました。おにいさんやおねえさんのぎんも、ききました。ソレイユの丘には、ひつじや、やぎや、うまがいました。かえりに、目がくりくりしているうまを見ました。とてもたのしい一日でした。

二月の或る寒梅

吟秀 市川邦岳

2月の始め、仕事の不動産の交渉で、或る寺院を訪問しました。座敷に通されて、正座をしようとした時、相手より「足崩して下さい」といわれて「いや、正座は、詩吟で慣れていますから」と話の末、足を崩しての約1時間、強い調子の言葉のやり取りもあり、少し憂鬱な進展でした。交渉も終わりに近づいた頃相手から「詩吟はお腹から声を出すから健康に良いですよ」という話には「今の時期は「寒梅」ですね」「寒梅」の素読を聞いて「新島襄は、クリスチャンですよ」と思わぬ方向へ「争わず又力めず!この気持ちで仕事しています」と言って「寒梅」を吟じました。今までの静けさに加えて、寺院の中が沈黙したひとときでした。吟じ終わると部屋の襖が開いて、前住職奥様が微笑みながら「いいわね」と部屋に入ってくられました。交渉は、相互に争わず、又力めず順調に進展しました。

平成十八年三月二十六日 上村岳章 作 添削宇都宮岳徳

青少年育成日偶感

欲弘吟道接児童
 三浦春丘花苑紅
 同詠漢詩謳古謡
 櫻歌不識轉心空

吟道を弘めんと欲し児童に接し
 三浦の春花苑紅なり
 同に、漢詩を詠じ古謡を謳うも
 桜の歌を識らざるは転心空なし



鎌倉市詩吟詩舞連盟発表会

晴誉 斉藤 紫 山

3月12日発表会の朝玄関のドアを開けましたら雪の様に梅の花びらが散って居りました。まあ、「野にかぎろいじやなく、東風吹かば」だわと思わず声に出してしまいました。風は少し強いものの暖かです。レイウエル鎌倉に向う途中も塀越しや、野や山際の梅が満開でした。まだ早いせいか役員が準備なされておりました。お着物の方が多く見かけられ鎌倉らしさ、詩舞の雰囲気より感じられました。皆さんとても緊張なさっておられ平素の様に吟じる事が本当に大変なのです。普段のお稽古をしつかりと重ねて会に臨まなければと強く思いました。快い、幸せな春の一日でございました。

逗子市詩吟詩舞発表会

真澄 浅野 健風

大型連休最後の5月7日(日)逗子文化プラザにおいて第38回発表会が開催されました。プログラムに従って各会各流派の熱心な吟詠があり会場の雰囲気も一層盛り上りました。特に初心者の方々は口を大きくあけて声を出し、立派な吟詠が続き日頃の稽古の成果が現れておりました。

詩舞に入り気分を一新して綺麗な舞が披露され会場をひとさわ和ませました。

書道吟での書について会場から質問があったことを松井先生が報告され書道の先生が書について説明されましたが、書は余り達筆で全て判

読できないことがあるので書華道が終った段階で行書の説明なり解説がなされることが望ましいと思います。

米寿を祝う集い

去る3月21日(春分の日)レイウエル鎌倉に於て、有志による「米寿を祝う集い」が開催されました。村田岳瀨、中村岳郵、千葉岳関、加藤岳相、4名の先生の88才を松井岳篁、磯村岳朋、森岳青を發起人として、4先生の弟子と共に祝いの会を開きました。

加藤 岳 相

予期していなかった頑心会有志の方々への企画による、米寿を祝う集いの会に招待され有難くお受けしたところ、当日はご多忙の折にも拘わらず、正、副会長、参事以上の役員の方、この先生より指導を受けた会員の皆様のご参集を賜り、吟、舞、懇親会と盛大なおもてなしに対し厚くお礼を申し上げます。

千葉 岳 関

数えの八十八歳、支部門下生諸氏の企画により始めての米寿のお祝い会に招かれ一日感動と涙の時を過ごしました。有難う御座いました。暖かい皆様の熱気あふれる行事に時の過ぎるのも忘れませんでした。

田舎の少年、青年、逗子転住の各時代、それにソ連拘留後、辛うじて生還帰国、戦後の生活、公務員勤務などを経て、現在吟道を通じて逗子、葉山の大勢の吟友との交流を頂き感謝感激の気持ちで一杯です。

改めて同席の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

中村 岳 郵

戦後数年、ようやく世情が落ち着いたところ、小学校の同窓会を行いました。半数以上の方が亡くなり残った者で「授かった命ゆえ、これから大切に生きよう」との誓いが忘れられません。戦時中、両耳の難聴者となり、以来筆を持つひと時が気持ちよさを和ませる日々でした。

ある日、堀内教場を紹介され入会しました。和やかで心温まる雰囲気魅了されストレス解消に役立ちました。そして十年後、松井岳洋先生にお任せし現在に至っております。

この度、吟友の皆様から米寿の祝福を頂きました。これからも、吟道を生涯の友として勤めたく一層のご厚情を心からお願い致します。

村田 岳 瀨

本日は、お忙しい中、盛大な「米寿を祝う集い」を企画され、皆様のご参加を頂き有難う御座います。

永年吟を続けるから健康なのか、健康故に続けられたのか、相乗効果でしょうか。

これまで、しっかりと乗り越えられたのも楽しい時は一緒に喜び、悲しい時は共に涙して下さった皆様の支えがあったからと心から感謝しております。

明日のために今日一日を精一杯生きて行きたいと思えます。

今後ともどうぞ宜しくお願い致しつつお礼の言葉とさせて頂きます。有難う御座いました。

わたしの 雅号の由来

真澄(服部翠岳(きく))

翠さわやかな空の下、咲き競う百花の片隅に、ひっそり咲く野菊の様に優しさと強さを持ち続けたいと願って、雅号に翠香の「翠」を頂きました。

これまで幾度か体調を崩し吟を続けることが無理な時もありましたが、その都度先生の励ましのことをばをいただき今日まで頑張る事が出来ました。今後もお教えを胸に努力を重ねて参りたいと思っております。

滝の坂 大池 信 泉(保)

私は信州小諸の出身で、故郷を離れて上京し修行して50年近くになりますが、何とか自分の店を持つことができました。その屋号を出身地に因んで「信州屋」と名付けました。

この度、縁あって店の2階を詩吟の教場として提供することになり、私も会員として詩吟を始めました。習いごと初めて、こんな練習したのとはじめてでした。

そして雅号などは何を付けたらよいか全くわからず、考えも及びませんでした。行谷師匠に言われ、それならば信州屋の「信」を付けるしかないと思い「信泉」と名乗ることにしました。

これからも精進し、詩吟を続けるかぎりこの「信」の一字を使い続けたいと思います。当「信州屋」へ是非起こし下さい。2階で毎週水曜日夜詩吟が響いております。

会員移動

○入会

- 300 松村 昌子 (真名瀬) 鎌倉市小町2-5-16 ☎0467-24-9554 紹介者 鈴木賢岳
- 301 佐々木美絵子 (真名瀬) 横須賀市衣笠町40-6 ☎046-853-9231 紹介者 鈴木賢岳
- 302 植草 眞 (滝の坂) 葉山町長柄1642-68 ☎046-875-1642 紹介者 上村岳章
- 303 一戸 静 (悠吟) 逗子市桜山3-17-10 矢部ハイム101 ☎046-873-5124
- 304 藤原 環 (相洋) 葉山町堀内550 ☎046-875-0609

○支部長変更

長柄支部 25 笠原岳珠 → 94 石井虹岳

○退会

- 58 高井 道岳 (堀内F)
- 59 小西 勝岳 (堀内F)
- 67 石毛 源岳 (堀内D)
- 69 矢島 佳岳 (堀内F)
- 80 曾村 静岳 (堀内F)
- 129 杉山 美岳 (堀内F)
- 154 秋吉 笙風 (一色)
- 184 畠山 真風 (堀内F)
- 185 大西 雄風 (堀内F)
- 192 西岡 祥風 (堀内E)
- 198 矢嶋 旦山 (堀内F)
- 199 角田 雅山 (堀内F)
- 220 佐久本利山 (幸和B)
- 265 太田 寿子 (堀内F)
- 267 鈴木智恵子 (堀内F)
- 271 飛永 昌信 (堀内B)
- 272 藤野 文子 (堀内B)

堀内支部解散による新支部名 H18・5・1から

新	旧	指導者	支部長
あずま	堀内A・D	中村 岳愛	斉須 淳風
相 洋	堀内B	加藤 岳洵	加藤 岳美
三ヶ浦	堀内E	白井 岳麗	白井 岳麗
真名瀬	堀内F	鈴木 賢岳	守屋 悦岳
紫陽花	堀内F	杉山 岳雪	池田 清岳
平 松	堀内F	加藤 岳洵	齋藤 和岳

編集後記

「目には青葉山ほととぎす初鰹」食いしん坊の私がこの時期すぐ出てくる句です。メタボリックシンドロウム(内蔵脂肪症候群)と言う長い名の病名を聞いて、ドキッとなりました。

運動もせず、甘いものや、脂っこい物大好きな私、予備群になっています。男性ウエスト85センチ以上、女性ウエスト90センチ以上の人要注意です。

広報部

18年	5月現在	会員数
葉山地区		138名
逗子・大船地区		116名
合計		254名